

谷保地域におけるルートについて

■ 基本的な条件整理

① 背 景

- ・ 谷保地域は、H14 年度運行開始の国立市コミュニティバス「くにっこ」の検討が始まったところから課題とされているが、道路状況などから実現に至っていない。
- ・ 古くから住宅が立地している甲州街道沿道地域の高齢化が進むが、依然として沿道地域内の道路は狭隘区間が多い。
- ・ 多摩川の河岸段丘に特有の地形条件となっている。坂道があり高齢者には厳しい。
 - a) 古くは農地（田んぼ）が広がっていた多摩川沖積地は区画整理によって業務地となっていてところが多い。都営泉 2 丁目アパートはここに立地している。
 - b) 多摩川沖積地から青柳段丘崖をあがると青柳段丘面となる。矢川駅や南養寺、谷保天満宮以西の甲州街道はこの段丘面に乗っている。一定の住宅の集積が見られる。
 - c) さらに立川段丘崖をあがると立川段丘面となる。谷保駅、国立市役所、国立駅などはこの段丘面に乗っている。
- ※ 谷保天満宮以東は、青柳段丘崖と立川段丘崖が合わさっているため高低差が大きく坂道も長い。高齢者の自転車利用には特に厳しい。
- ・ 青柳段丘面や多摩川沖積地に建てられる新築住宅は自家用車の所有が多く（車庫が 2 台分ある住宅も多い）、乗り合い交通に対する需要は低い（但し、高齢者等は移動手段が限られる）。

② 以前と条件が変わったところ

- ・ 城山下・下新田区画整理の竣工（平成 25 年度～26 年度に事業完了）
- ・ 大山街道の南武線沿線区間は拡幅により車線幅 4.26m がほぼ確保された。
- ・ 使用する車両をポンチョ（車幅 2.08m）ではなくワゴン車（車幅 1.88／1.69m）とすることで、必要とされる車線幅の最低値が 4.26m／3.88m（相互通行の場合）で運行が可能となっている。
- ・ 甲州街道～国立府中 IC～石田大橋の日野バイパスが完成。
- ・ JR 南武線に西府駅が開業（平成 21 年 3 月）。
- ・ 京王バスの谷保東バス停供用（平成 26 年 4 月）
- ・ 城山さとのいえの整備が進められており、今後公共交通機関によるアクセスが求められる可能性が高い。

③今後の課題等

- ・甲州街道から南北に向かう道路は依然として狭隘で、新たなルートで乗り合いサービスを実施するためには道路整備が大前提である。
- ・グループインタビューやヒアリング等により、実際の利用につながるようなニーズを十分に把握・整理しながらルート等を検討していくことが肝要である。

